

平成26年度 第59回県民合唱祭の講評

時／2014年6月8日（日）

所／焼津市文化会館大ホール

演奏団体 混声コーラス ら・ら・ら
演奏曲目 「アムール河の波」(ロシア民謡)、
「あなたとわたしと花たちと」(峯 陽/詩、小林秀雄/曲)
演奏人数 S13、A11、T6、B6 計36名
指 揮 杉浦久喜
ピアノ 竹花秀代

<講 評>

梅山 登先生（合唱指揮者、全日本合唱連盟副理事長）

真摯な真剣な日々の活動が視えてきます。聴こえてきました。

キチンとしたアンサンブルでした。

内なるモノの表出を、豊かな情感、爽やかな品格……希求し愉しんで下さい。これからも！
神秘的な音のつながりも聴いて！

鈴木正紀先生（合唱指揮者）

一つの合唱団として歌い口とか響きとか、自分達のスタイルをきちんと持った合唱団。

一人一人の自発性も、合唱でありながらアンサンブルとして乱さない意識もあって
良く訓練されている。

藤井京子先生（合唱指揮者）

時に生の声になってしまう箇所があるけれど、声をしっかり出そうとしていました。

こじんまりしないところはいいですが、男声の音色は注意しましょう。女声は美しい。

明るく、2曲目は発音もきれいにまとまっていた。

発音もいいものが出て、なかなかの合唱になっていました。

1曲目に比べてズートこちらの方が音色も発音も明るくていい。

一フレーズの言葉のつけ方、声の出し方の研究、明瞭な言葉…いい発音との関係、一つづつ
はいいのだけれど、出した後すぐ引いてしまうと…意外と声も出ないし、言葉もわからない。